

# 子育て支援員(仮称)研修の基本(共通)研修 科目等(素案)



## 基本研修の科目・内容についての主な御意見・論点

項 目	御意見・論点
子育て家庭の理解に関すること	現在の子どもたちを取り巻いている状況の中に、貧困や非行という問題があり、対象を理解する上では、貧困や非行について理解しておかないと、(子育て支援員にとって)非常に大きなインパクトになってしまう。
子ども・子育て家庭の現状	子育て家庭の現状は、子育て不安を抱える家庭や特別な支援を真に必要とする家庭が増えてきている現状にあり、虐待の背景には貧困や一人親家庭など、様々な困難を抱える家庭がある。現場で(子育て支援員が)ぶち当たる壁がこのような特別な支援を必要とする方々への支援ということになるため、基本研修において「子どもの虐待と社会的養護」に踏み込むことは意義がある。
子育て支援員の役割について	現在の子ども・子育て家庭の現状を理解することや、子育て支援の理念・基本的な考え方を理解し、子育て支援員の役割・倫理・理念・意義を押さえることは重要。
「子どもの遊びの理解」	子どもが育つ基本的な場である「遊び」がなくなっている中で、なぜ「遊び」が大事なのか、「遊ぶ」ためには何が必要なのかなど、「遊び」のなかで養われていく「関わる能力」、「工夫する力」等の人間の基礎力について、共通研修の中でも学ぶ必要があるのではないか。
「緊急時の対応」	病気やけがが起こった場合の対応や、あるいは虐待が疑われる場合もあることから、「緊急時の対応」についても共通研修に含めてはどうか。
「子育て支援員の役割と倫理」	「保育の原理」と「対人援助の価値と倫理」の2つの項目で90分となっており、1項目あたり45分。「保育の原理」の中で“遊び”“貧困”“学習支援”などを扱うためには時間が少ないのではないか、それぞれ60分は必要ではないか。
「発達への理解」と「保育の原理」	「発達」とは何かということをしっかり理解することは重要。「保育の原理」というのは発達の理解に繋がってくることから、「保育の原理」と「対人援助の価値と倫理」という組み合わせだけでなく、「発達の理解」と「保育の原理」という構成も考えられる。
子どもの発達をどのように捉えか	子どもの発達について、「子どもは自ら発達しようとする能動的な存在」、「発達の各段階の特性、各段階に意味があること」、「日常の中の育ち、応答的存在」という構成を踏まえ、どのような視点“発達観”をもって捉えるのが基本研修において必要ではないか。

# 基本研修の科目・内容(素案)①

## (研修科目の考え方)

基本研修の科目は、子育て支援員として子育て支援分野で従事するうえで、最低限修得しておくことが必要となる基礎的な知識・原理・技術・倫理に関するものとし、子育て支援員としての役割や子どもへの関わり方を理解し、子育て支援員としての自覚を持ち従事することができるようにするものとし、事業の特性や年齢に応じた具体的な内容は専門研修によって修得。

(尾木座長代理・橋本構成員作成資料をもとに各構成員のご意見等から整理したもの)

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
<b>1. 制度や社会状況における事業の役割を捉えるための科目</b>				
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	①子どもの育つ社会・環境 ②子育て家庭の変容 ③ワークライフバランス	①子ども・子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ②家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズについて理解する。 ③子ども・子育て家庭の支援について理解する。 ④子育て家庭の貧困や非行などの背景の概要について理解する。
②子ども家庭福祉	講義	90分	①子ども・子育て支援新制度の概要 ②子ども家庭福祉施策の理解 ③子ども家庭福祉に係る資源の理解	①子ども家庭福祉施策・制度の現状と課題について理解する。 ②多様なニーズに対応する子育て支援サービスの現状と課題について理解する。 ③児童福祉施設等と専門職の役割を理解する。 ④地域の子ども・子育て支援の体制の現状と動向を理解する。
<b>2. 援助の意味や役割を理解するための科目</b>				
③子どもの発達	講義	60分	①発達への理解 ②発達への援助 ③胎児期から青年期までの発達 ④子どもの遊び	①子どもの発達の概要について理解する。 ②子どもの発達について発達観(「研修内容の構造」の視点(別紙))について理解する。 ③生涯発達の概要について理解する。 ④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。

## 基本研修の科目と内容(素案)②

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
子育て支援員の役割と倫理				
④保育の原理	講義	45分 60	①発達・成長の保障 ②情緒の安定 ③生命の保持	①発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。
⑤対人援助の価値と倫理	講義	45分 60	①保護者・職場内・他組織との連携・協力 ②守秘義務・個人情報の保護 ③子どもの最善の利益 ④利用者主体 ⑤対象者の尊厳の遵守	①対人援助の基礎について理解する。 ②関係者・関係機関との協働についての基礎を理解する。 ③対人援助の手法と利用者の保護の基礎についての理解する。 ④子育て支援員(仮称)の役割と倫理について理解する
<b>3. 家庭の特性を理解するための科目</b>				
⑥子ども虐待と社会的養護	講義	90分	①子ども虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状	①子ども虐待とその影響、虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ②虐待を受けた子どもに見られる行動の概要について理解する。 ③子どもの権利擁護の概要について理解する。 ④社会的養護の意義と現状・実施体制の概要について理解する。 ⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する
⑦子どもの障 <del>害</del> がい	講義	60分	①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む) ②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援サービス等の理解	①障害特性について概要を理解する。 ②障害児支援制度の概要について理解する。 ③障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要を理解する。 ④障害児支援サービス等の現状について理解する。

## 基本研修の科目と内容(素案)③

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
4. 子どもの安全確保				
⑧緊急時の対応	講義	60分	①子どもの事故と予防 ②子どもの疾病 ③緊急時の対応	①事故防止と安全対策に関する基礎について理解する。 ②子どもの疾病に関する概要について理解する。 ③事故等の発生時の対応・危機管理の概要について理解する。
8科目 9時間(540分)				

※各専門研修ワーキングチームにおいて基本研修科目等の素案を踏まえ専門科目を検討し、検討結果を踏まえ再度、基本研修科目等についても検討

### 研修内容の構造



作図：橋本真紀  
(関西学院大学)